

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)



世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.45》2016年11月発行

【ご挨拶】大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎  
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

人口当たり留学生数が日本一の大分県では、留学生はまさに地域の宝です。約80の国・地域から3,400人の留学生が大分で学び、地域の人々と交流し、卒業の際には大分が第二の故郷と言って去っていきます。県では、先月、別府市に留学生ビジネスセンターを開設し、留学生の県内就職や起業をサポートしていくなど、今後も留学生の活躍の場を広げていきたいと考えています。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



## 大分県の海外関連施策について



商工労働部  
工業振興課  
課長

**工藤 典幸**  
(Noriyuki KUDO)

【連絡先(Mail)】  
[a14200@pref.oita.lg.jp](mailto:a14200@pref.oita.lg.jp)

一般社団法人大分県工業連合会(2013年4月設立:古手川保正会長)は、県内ものづくり関連企業の発展と大分県工業の振興・発展に寄与することを目的として、技術相談や人材育成にかかる研修をはじめ、様々な取組を行っています。

特に海外展開について、地場中小企業が、海外にも販路を拡大できるよう、台湾の(財)金属工業研究发展中心や(社)中華整廠發展協會(TTA)とビジネス交流を推進し、成果を上げてまいりました。

今年9月の大分県台湾プロモーションでは、台中GHA(臺中市金手獎得獎廠商協

進會)と新たにビジネス交流を開始しました。合同商談会では、県内参加企業8社に対して、GHA会員51社が商談を申し込むなど、県内ものづくり企業が持つ独自の技術に対する興味・関心の高さを実感したところです。

今後とも、本会が日台双方のビジネス交流をしっかりとバックアップし、県内ものづくり産業が益々発展していくよう、地場中小企業への積極的な情報発信を行ってまいります。



## 注目記事① 中国湖北省で大分留学説明会を開催しました

10月18日に中国湖北省武漢市で大分留学説明会を開催しました。大分県と湖北省はトップ同士の交流や職員の相互派遣研修等により友好協力関係を築いていて、今回の説明会も「湖北・大分教育交流会」として、省政府の支援を受け開催しました。説明会には、約150名の大学生や高校生の皆さんが参加し、各大学がプレゼンテーションを行った後、大学毎にブースを設けた留学相談会を開催し、多くの学生が熱心に質問や相談を行っていました。この説明会を契機に、多くの学生が大分へ留学してくれることを期待しています。

【国際政策課】



## 注目記事② 県産農林水産物等トップセールス in LA

10月5日～7日の3日間、太田副知事を団長とする、全農おおいた、ミートクレスト、兵殖、椎茸農協など農林水産団体や関係企業等からなる19名の訪問団がアメリカ(ロサンゼルス)を訪れ、レストラン渋味(Shibumi)での「大分県産食材プロモーション(商談会)」やGatten Sushi, Wadatsumiでの「おおいた豊後牛フェア」、そして「大分県人会との意見交換会」を行いました。【おおいたブランド推進課】

### 大分県食材プロモーション(商談会)



アメリカで初めての県産単独商談会をレストラン渋味(Shibumi)で開催し、牛肉やブリ、乾しいたけ、日本酒など県内企業6社が参加しました。出展企業の商品を使用した料理が来場バイヤーに振る舞われ、大分県産品の味を知ったバイヤーとの具体的な商談を行うことができ、乾しいたけや柚子ごしょう等が商談成立し、取引を開始したところです。

【店舗FBアドレス】 (Shibumi) <https://www.facebook.com/Shibumi-521649171343786/?fref=ts>

### おおいた豊後牛フェア(Gatten Sushi, Wadatsumi)



回転寿司チェーンGatten Sushiの全4店舗で10/7～16の間、おおいた豊後牛の炙り寿司(3.95\$/2貫)を提供するフェアを開催し、フェア初日にはおおいた豊後牛取扱店認定証贈呈式を行い、現地ラジオ局などの取材を受けました。

日本料理店のWadatsumiでは10/3～16の間、おおいた豊後牛のコース料理(65\$)が提供され、期間中はFacebookなどのSNSで情報発信を行い、知名度向上を図りました。

【店舗FBアドレス】 (Gatten Sushi) <https://www.facebook.com/gattenus/?fref=ts>  
(Wadatsumi) <https://www.facebook.com/wadatsumi.harikawa>

### ロサンゼルス大分県人会との意見交換

会田会長をはじめとする県人会員(13名)と県内企業等(13名)の意見交換会を行いました。県内企業の方々はロサンゼルスが初めてという方も多く、現地の情報や商文化などを県人会の方々から聞き、今後の活動に向けて有意義な意見交換になりました。



## 注目記事③ おんせん県が世界中を沸かせたシンフロの続編はまさかの青春ドラマ「ゆけ、シンフロ部！」

源泉数・湧出量日本一を誇る大分県は、新おんせん県おおいたCM「ゆけ、シンフロ部！」を絶賛公開中！新CMは、大分県内各地のバラエティ豊かな温泉で華麗なシンクロナイズドスイミングの演技を魅せ、話題となった「シンフロ」の続編で、大分県のとある高校のシンフロ部が舞台の、あったか青春ストーリー。これから高校や大学を卒業して大分県を離れる若者に向けた、大分を離れたとしても、「大分県はいつでもあなたの帰りを待ってるよ」というメッセージを込めた、Uターン促進ムービーです。

WEBでご覧いただけます！「おんせん県は、お湯を沸かして待ってるよ。」

<http://onsenkenoita.com>

【広報広聴課】



## 注目記事④ ラグビー国際交流事業



10月10日に、2019年に大分県で開催されるラグビーワールドカップを盛り上げるため、別府市の姉妹都市であるニュージーランドロトルア市の高校生を招待して、小学生との交流事業や大分県高校選抜チームとのラグビー交流試合等を開催しました。初めて日本を訪れる高校生が大半のなか、日本の伝統文化やホームステイ体験を通じて、相互理解を深めることができました。今回、来日したニュージーランドの高校生や大分県高校選抜チームの中からラグビーワールドカップ2019日本大会に出場する選手が出てくることを期待しています。【国際スポーツ誘致・推進室】

## 注目記事⑤ フィリピン県人会恒松様のご講演

10月24日に、平成28年度第2回アジアビジネス研究会を開催しました。今回はフィリピンファミリーマート副社長でありフィリピン県人会長でもある恒松秀紀様を講師にお招きし、「フィリピンのビジネス環境・フィリピンから見たASEANビジネス」をテーマに、フィリピンの概況やビジネス環境についてのご講演をいただきました。講演では、フィリピンの政治経済などの一般的な情報から、ご自身のビジネスの進出状況やマーケティングまで詳細にわたってお話をいただきました。参加者からは、「フィリピンの国民性に基づいた分析、売れ筋情報が大変勉強になった」、「海外進出の生の声が聞けて、非常によかった」などの声が寄せられ、非常に有意義な講演会になりました。



【国際政策課】

## 注目記事⑥ ALTアーロン先生の動画が受賞

(一財)自治体国際化協会では、JETプログラム30周年記念事業のひとつとして、「JET参加者が伝える日本の地域」をテーマに動画コンテストを行いました。全国各地から応募のあった107作品のなかから、杵築市ALTのアメリカ出身アーロン・ジョーンズ先生の動画「千里の道も一歩より」(Little by little, one goes for)が、SEASON賞(秋・冬)を受賞しました。

<http://jetprogramme.org/ja/videocontest/>

【国際政策課】



アーロン先生  
から

JETプログラムコンテストを通じて、私の杵築での経験を皆さまにシェアすることができ、非常に嬉しいです。JETプログラムという素晴らしいプログラムと、日本の英語教育に携わることができ、感謝の気持ちを申し上げたいと思います。



**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（10月）

News

## 【10月5日(水)】 玖珠町森地区がアジア都市景観賞を受賞



国連ハビタット福岡本部や、アジア景観デザイン学会など4団体が共催するアジア都市景観賞に、玖珠町森地区の環境整備事業が選ばれました。伝統様式の建造物の復元・保存や古民家の改修、活用といったまちづくりが評価を得ました。

News

## 【10月7日(金)】 全国梅酒品評会で2銘柄が金賞を受賞



今年の全国梅酒品評会で、日田市の(株)おおよま夢工房の「梅花爛漫プレミアム」が【醸造アルコール梅酒】部門、「和紅茶梅酒 クレハロワイヤル 嬉野アールグレイ」が【ブレンド梅酒】部門でそれぞれ金賞を受賞しました。昨年には別の銘柄で金賞を獲得しており、2年連続の受賞となりました。

News

## 【10月23日(日)】 竹田市で全国山城サミットが開催

山城を活かした地域の活性化を図るために開催される全国山城サミットの第23回が、国指定史跡 岡城跡を擁する竹田市で開催されました。全国から約600人が参加し、奈良大学城郭考古学者千田 嘉博教授など4名が講演をしたほか、市内の中学生や「岡城武者揃え実行委員会」が活動や魅力について発表をしました。



※国際政策課にて新聞等を元に作成



## 中国湖北省研修員の「私の大分☆見聞録」



先日、友達につれていってもらって、今市石畳まつりに行きました。今市にある石畳の街道は江戸時代、熊本から江戸へ行く参勤交代の道でした。坂本竜馬もそこを通ったことがあるようです。道路設備がちゃんと整備されている日本で、昔ながらのこぼこの石畳の道を保存している今市にびっくりしました。今市は大分市と竹田市との間にあり、人口80人程度の小さい町です。今市で一番大きな石畳まつりに大量の竹灯籠を用意しますが、80人の町にとって準備が大変なので、祭を手伝いに来るボランティアもいました。

夕方、山の奥にある今市に到着し、会場へ向かいました。会場では竹で作ったたくさんの灯籠が石畳の道に何かの形をして、置かれています。

友達が、それはお殿様がそこを通るのを待っている庶民の姿と説明しました。私の祖父は、とても竹が好きで、実家ではたくさんの竹を植えていました。祖父がなくなった後、父はどんどん出てきた竹が道の邪魔となったので、私の反対を押さえて、竹を全部切りました。だから、その竹で作った竹灯籠を見ると、親近感があり、幼い時期の記憶がよみがえりました。まっすぐで、君子にたとえられる竹が中国古代でたくさんの文人に愛されました。今市はどういうきっかけで竹灯籠を作り、ロマンチックな雰囲気のある祭をするようになったのでしょうか。



午後5時ごろ、佐藤大分市長が挨拶して、自らライターで蠟燭に火をつけて、まつりの幕を開きました。その後、係の人が観光客にライターを配りました。私がつけた蠟燭が会場の一部となったので、少し興奮しました。ほかの観光客も石畳でうれしそうに火をつけたり、記念写真を取ったりしました。参加型の祭がとても面白く、記憶に残されると思っています。6時以降、日が暗くなり、石畳の竹灯籠がいつそうきれいに見えて、天上の星と比べても劣らない地上の星だといえるでしょう。小学生2年生から中学生までの子どもたちが演出した岡倉子ども神楽も面白かったです。日本の祭りが日本らしい伝統芸能などを育み、長く続けさせる役割を果たしていると考えられます。

【研修員 謝芳】

# From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



ミアム・スターリング  
(Miriam Starling)  
県国際交流員  
英国  
[pu101503@pref.oita.jp](mailto:pu101503@pref.oita.jp)

今月、シェリダンさんと別府に行きました。まず、ひょうたん温泉に行きました。ひょうたん温泉で働いている人と話して、大正時代からのひょうたん温泉の長い歴史について学びました。このような長い歴史を持つのに、今も毎年数千人がひょうたん温泉を使います。私達は温泉に浸かって、あがった後、ミシュラン星のあるひょうたん温泉のレストランに行き、昼ご飯を食べました。その後、鉄輪をゆっくり歩いて、店に行ったりしました。どこでも足湯、おいしい料理、歴史が書いている看板があって、雰囲気がいいです。丘を登ると、別府の有名な景色が見えます。ひょうたん温泉から鉄輪の道を歩いたら、別府の海地獄に行けます。私達が行った日、天気が良くて、青く見えました。雨の日だったら、煙が多すぎて、見えないので、運が良かったです。私はよく別府の日帰り旅行に行きますが、行くたびに、温泉と料理のおかげで、元気を取り戻して、落ち着けます。この素晴らしい所の近くに住めて嬉しいです。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.lg.jp](mailto:pu101502@pref.oita.lg.jp)

秋の好天に恵まれた連休に大分市内ではさまざまなイベントが開かれていました。まず、秋の恒例行事の大分生活文化展が「大分食と暮らしの祭典」に生まれ変わり、府内城址公園やアクアパーク、若草公演などの会場で開催され、雑貨や飲食などの出店が並んでいました。また、府内5番街ではオクトーバーフェストが開かれ、涼しい風にあたりながらおいしいビールを堪能できました。

その次の週は9年ぶりに中央通りが歩行者天国になるイベントが開催され、多くの家族連れで賑わいました。特に職業体験ゾーンなど子供が楽しめるコーナーがたくさん用意されていました。駅前には第4回の「宗麟公まつり」が開催されており、市内中心部ではどこに行っても賑やかな雰囲気を楽しむことができました。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

今月はじめて別府ロープウェイに行きました。実は、その前にロープウェイやケーブルカーに乗ったことがありませんでした。地上から離れていて混んでいるロープウェイに乗ることはちょっと怖いと思いましたが本当に安全でした。ロープウェイは地上1300メートルのところへ登ります。ロープウェイの上に別府がよく見える場所があります。その高さから見た景色がとてきれいです。晴れた日に行ったら一番良いと思いますが、曇りの日に行きましたが景色がすばらしかったです。景色以外、ロープウェイの終点の鶴見岳は神社と散歩道があります。



章 羽紅  
(Yuhong Zhang)  
県国際交流員  
中国  
[pu101501@pref.oita.jp](mailto:pu101501@pref.oita.jp)

10月の中旬に入り、朝晩とても涼しく、秋の気配をよく感じる季節になりました。これから冬に向かって、本格的に温泉の季節になります。「日本一のおんせん県」と称される大分は温泉資源が豊かです。5回連続「ミシュラン三つ星温泉」と評価される「ひょうたん温泉」は別府市の八大温泉の1つ鉄輪地方にあり、温泉冷却装置湯雨竹で源泉の「鮮度」を100%維持することができます。砂湯、蒸し湯、瀧湯、露天風呂などいろいろ楽しめるほか、「地獄蒸し料理」を楽しむこともできます。さらに、食事のあと、休憩室で横になって、一休みができるので、旅行のあと、とてもおすすめです。明善温泉の「湯の花」にも入ってみました。家族湯に使う情緒ある「湯の花小屋」を通して、山に登るような小道を数十段も登っていくと、入り口になります。入口から女湯に行くには、更に細い山道を2分ほど進みます。山を背景に、別府市の街の風景が見下ろせる露天風呂は最高の癒しの場所でした。



## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

### 【姫島村／日出町】



(姫島村)  
「姫島海水浴場」  
島内で一番美しく、広さも最大の砂浜。キャンプ場も隣接。



(姫島村)  
「姫島七不思議・かねつけ石」  
お姫様がおはぐろをつける際においた猪口と筆の跡



(日出町)  
「回天神社」  
全国の「回天」搭乗員等1073名もの戦没者が祀られる



(日出町)  
「ザビエルの道」  
フランスコサビエールが通ったとされる「おおいの遺産」に選ばれた道



## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!(様式は任意です)

【記事提供先/お問い合わせ先】

国際政策課 担当:野田

【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

